

本社内に新工場建設

ミューキ化成 医療・半導体進出へ

プラスチック部品製造のミューキ化成(延澤隆史社長)は、医療機器・半導体製造装置向けの新工場を本社内(射水市戸破・小杉)に建設する。投資額は約3億円。



本社工場の敷地内に建設中の新工場。射水市戸破

今年3月に着工しており、完成は9月末の予定。

新工場は、耐熱性などに優れた高機能樹脂「スーパーエンブラ」を製造する。鉄骨平屋建て、延べ床面積615平方メートル。当初は射出成形機を4台導入し、順次増やす方針。部品の検査・組み付け工程の自動化も図る。成形機のオペレーターなど生産技術部門で最大10人採用する。

主力の住宅サッシや釣り具のルアーは、人口減少で大幅な需要増が見込めないため、医療機器と半導体製造装置向けを新たな収益の柱に育てる。新工場の稼働

により、2030年度の売上高は、20年度の約24億円から2割増を目指す。

海外規格対応のノイズフィルタ

コーセル月内発売

コーセルは7日、産業機器用ノイズフィルタ「YACシリーズ」を開発し、月内に発売すると発表した。海外で一般的な送電方式に対応した。海外輸出を検討する産業機器メーカーを中心に販売し、5年後に年間売り上げ2億4千万円を目指す。

ノイズフィルタは、産業

近年、海外のサプライチェーンが混乱した影響で、医療機器、半導体製造装置のメーカーが部品の調達先を国内メーカーに切り替える動きがある。延澤社長は「当社が調達の代替先として選ばれよう生産技術を磨いていきたい」と述べた。

海外の配電方式に対応したYACシリーズ



機器で誤作動の原因となるノイズを抑制する装置。海外で一般的な「三相4線式」に対応することで、産業機器の海外輸出に必要なEMC(電磁適合性)規格に適

合できるようになった。コピー機やFA(自動化・省力化)機器を対象に販売する。

古澤・廣島氏の研究たたえる

富山第一奨学財団賞

県内の若手・中堅の研究者を顕彰する富山第一銀行奨学財団賞の表彰式が7日、富山市の富山第一銀行本店で開かれ、受賞者2人をたたえた。

同賞は2022年、富山第一銀行奨学財団(横田格理事長)が創設。2回目の



とやま経済

て人手がかからず、工期と価格

工場では、大型バスがジャツ

ているのに気付いた。安全に乗